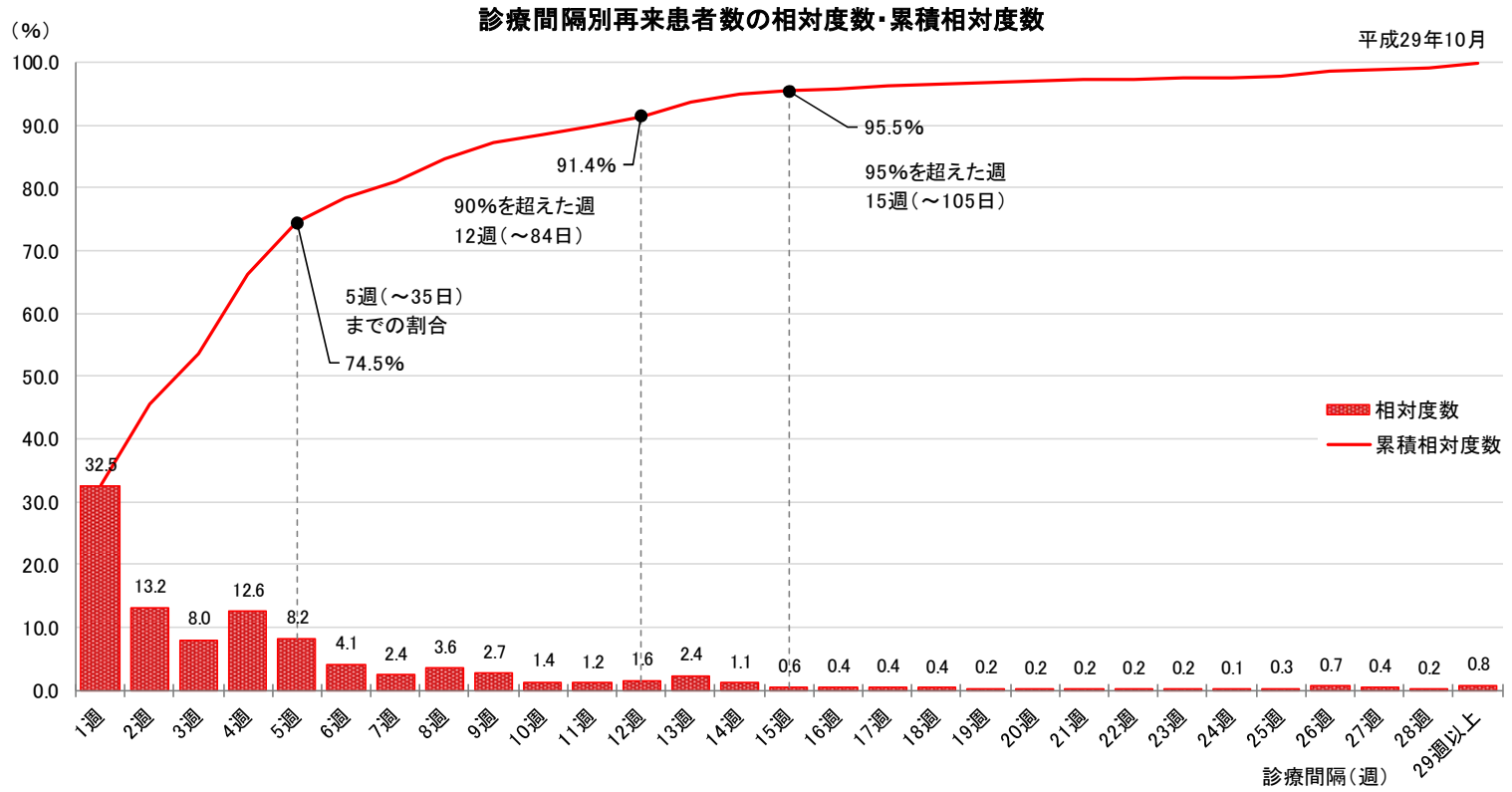


# 総患者数の算出に関連する集計事項の状況

平成29年の**再来患者の診療間隔**（週ごと）別相対度数及び累積相対度数の分布はグラフのとおり。

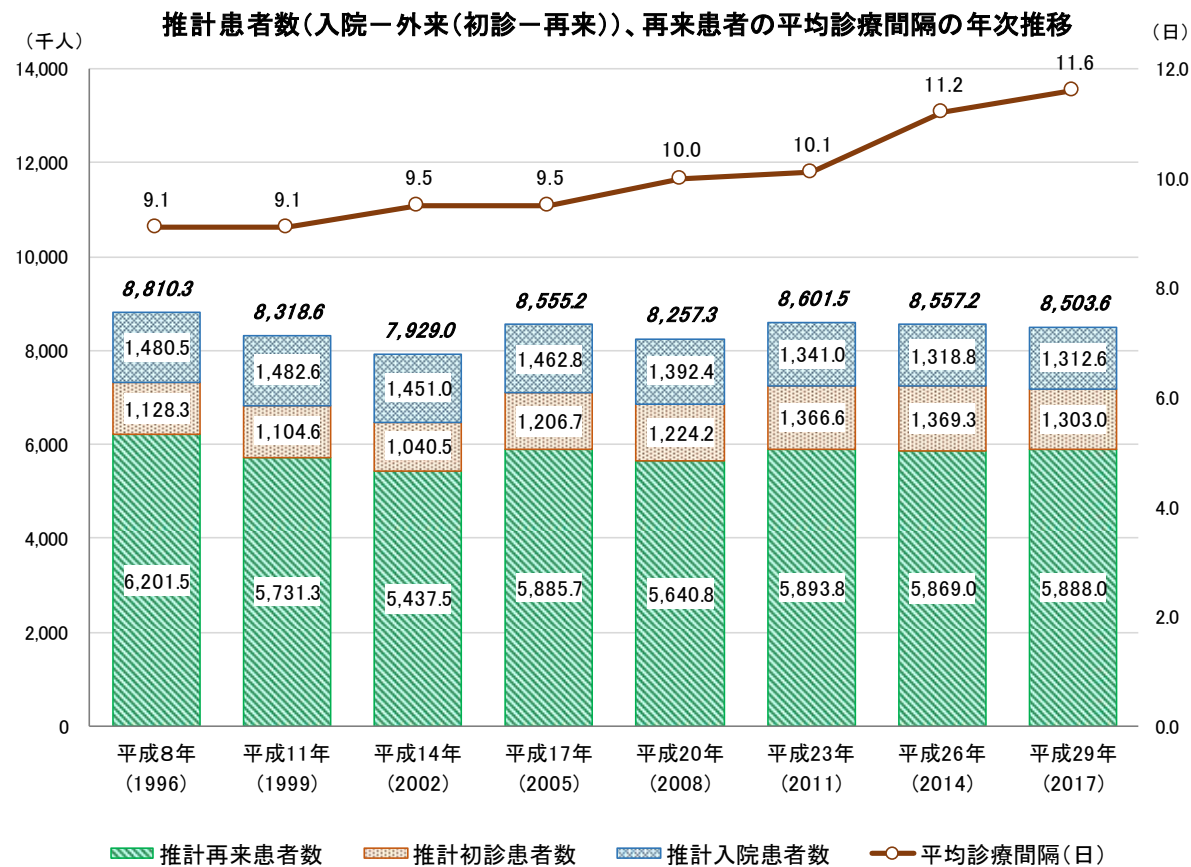
- 現行の平均診療間隔算出上限の30日を含む5週目（～35日）までの累積相対度数は74.5%
- 累積相対度数が90%を超えるのは12週目（～84日）、95%を超えるのは15週目（～105日）



注：本グラフの再来患者数の相対度数及び累積相対度数は、「前回診療（訪問）月日不詳」は除いて算出した。なお、拡大乗数を乗じる前のデータ件数から算出している。  
資料：平成29年患者調査より、厚生労働省にて独自集計。

推計患者数（入院－外来（初診－再来））及び再来患者の平均診療間隔の年次推移はグラフのとおり。

- 推計入院患者数は平成20(2008)年から減少傾向、推計再来患者数は平成23(2011)年からほぼ横ばい。



注：棒グラフの太字斜体の数値は入院・初診・再来の各推計患者数の総数である。  
 資料：平成29年患者調査